

## —ヒロシマ「原爆の日」—

みなさんおはようございます。きょう<sup>はちがつむい か</sup>8月6日は「とくべつな日」ですので、  
臨時<sup>りんじ</sup>に放送<sup>ほうそう</sup>で話<sup>はなし</sup>をします。

いま<sup>いま</sup>から75年前<sup>まえ</sup>のことですから、みなさんのおじいさんやおばあさんも生まれて  
いなかったかもしれない、昔<sup>むかし</sup>のことです。そのころ、世界中<sup>せかいじゅう</sup>が「戦争<sup>せんそう</sup>」をして  
いました。日本<sup>にほん</sup>も、アメリカや中国<sup>ちゅうごく</sup>、イギリス、オランダ、オーストラリア  
といった、みなさんもよく知<sup>し</sup>っている国々<sup>くに</sup>と長い間<sup>ながあいだ</sup>、戦争<sup>せんそう</sup>をしていました。

「戦争<sup>せんそう</sup>」ということばは、わかりますか。1・2年生<sup>ねんせい</sup>のみなさんには、むづかし  
いかもしれませんね。戦争<sup>せんそう</sup>とは、国<sup>くに</sup>と国<sup>くに</sup>が、敵<sup>てき</sup>と味方<sup>みかた</sup>にわかれて鉄砲<sup>てつぽう</sup>や大砲<sup>たいほう</sup>や  
爆弾<sup>ばくだん</sup>といった武器<sup>ぶき</sup>を使<sup>つか</sup>って人々<sup>ひとびと</sup>が殺<sup>ころ</sup>しあう、とても恐<sup>おそ</sup>ろしい戦<sup>たたか</sup>いのことです。

この大阪<sup>さか</sup>にも、アメリカの飛行機<sup>ひこうき</sup>が飛<sup>と</sup>んできて、たくさんの爆弾<sup>ばくだん</sup>を落<sup>お</sup>としまし  
た。ほとんどの家<sup>いえ</sup>が焼<sup>や</sup>けて、たくさんの人<sup>し</sup>が死<sup>し</sup>にました。大阪城<sup>さかじょう</sup>の天守閣<sup>しゅかく</sup>の石  
垣<sup>がき</sup>がずれるほどはげしい爆発<sup>ばくはつ</sup>もあって、今<sup>いま</sup>でもずれているのを見ることができ  
ますよ。

このころは、食べ物<sup>たもの</sup>も不足<sup>ふ</sup>していて、人々<sup>ひとびと</sup>は、「日本<sup>にほん</sup>は戦争<sup>せんそう</sup>に負<sup>ま</sup>けてしまうか  
もしれないな。」と思うようになっていたそうです。実は、8月15日<sup>じつ</sup>に日本<sup>にほん</sup>は負  
けを認<sup>み</sup>めて戦争<sup>せんそう</sup>が終<sup>お</sup>わりましたので、8月6日は、戦争<sup>せんそう</sup>が終<sup>お</sup>わるほんの9日前<sup>ここのかまえ</sup>  
のことだったのです。（戦<sup>たたか</sup>いが続<sup>つづ</sup>いていた場所<sup>ばしょ</sup>はあるようです）

8月6日の朝、アメリカの飛行機が一機、広島市の空に飛んできました。そして、8時15分、世界で初めて「原爆（原子爆弾）」を広島市に落としたのです。

原爆は、とても恐ろしい爆弾で、たった一発の爆発で、地面が三千度以上に熱くなり鉄までも溶けてなくなるほどです。爆発の力はすさまじく、台風の千倍以上の強さの熱い風が吹き荒れて家を燃やし、吹き飛ばしました。

今の住之江区の広さの半分くらいは建物が無くなってしまったほどです。そして、その年のうちに、住之江区にくらす人の数よりも多い、14万人が死んでしまいました。

原爆が爆発した空には、火山の爆発の雲のように、大きなキノコの形をした雲が、富士山の4倍ほどの高さまで、もくもくとたちのぼりました。雲の写真を見たことがある人もいないのでしょうか。

原爆は、どうしてこれほど大きな爆発をしたのでしょうか。ふつうの火薬だけの爆弾ではなく、放射能をもつウランなどの材料を使ってつくられたからです。

そして、原爆が恐ろしいのは、生き残った人々が、爆弾の放射能によってガンや白血病などの病気になってしまうことです。さっき話したキノコの形をした雲からは、「黒い雨」と呼ばれた、ねばねばした、黒い色の雨が降りだしました。その雨には放射能があって、雨にぬれた人は、ガンや白血病で苦しみました。75年もたった今でも苦しんでいる人がいます。

こんな<sup>おそ</sup>恐ろしい<sup>げんばく</sup>原爆が、3日後<sup>みっかご</sup>の8月9日<sup>このか</sup>に、長崎市<sup>ながさきし</sup>にも<sup>お</sup>落とされました。

長崎市<sup>ながさきし</sup>も広島市<sup>ひろしまし</sup>と同じようにたくさんの人<sup>おな</sup>が死<sup>し</sup>にしました。

原爆<sup>げんばく</sup>のような恐ろしい<sup>おそ</sup>爆弾<sup>ばくだん</sup>が、人々がくらすまちに<sup>お</sup>落とされたのは、世界中<sup>せかい</sup>で

日本<sup>にほん</sup>の「ヒロシマ」と「ナガサキ」だけです。

その後<sup>ご</sup>、世界中<sup>せかい</sup>の人々が、ヒロシマやナガサキの被害<sup>ひがい</sup>を<sup>き</sup>聞いて、原爆<sup>げんばく</sup>は人類<sup>じんるい</sup>を

滅ぼす<sup>ほろ</sup>恐ろしい<sup>おそ</sup>爆弾<sup>ばくだん</sup>だということを知<sup>し</sup>りました。

しかし、とても残念<sup>ざんねん</sup>なことです、原爆<sup>げんばく</sup>よりもっと力のある爆弾<sup>ばくだん</sup>やミサイルが、

今<sup>いま</sup>では世界中<sup>せかい</sup>にたくさんあるのです。

みなさん、きょう8月6日は、75年前<sup>まえ</sup>にヒロシマに原爆<sup>げんばく</sup>が<sup>お</sup>落とされた「原爆<sup>げんばく</sup>の日」です。

ぜひ、原爆<sup>げんばく</sup>のこと、戦争<sup>せんそう</sup>のこと、今<sup>いま</sup>の平和<sup>へいわ</sup>のことを<sup>かんが</sup>考えてください。これで話<sup>はなし</sup>を<sup>お</sup>終わります。

(原爆<sup>げんばく</sup>のことを話<sup>はな</sup>したり考<sup>かんが</sup>えたりするときは、わざとカタカナで「ヒロシマ」

「ナガサキ」と書<sup>か</sup>くことが<sup>おお</sup>多いです。)